

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年2月

応募者名:香川県 土木部 都市計画課

事業の名称:高松広域都市計画道路

福岡三谷線整備事業

中新町詰田川線整備事業

実施都市名:香川県 高松市

事業目的

(都)福岡三谷線は、高松港朝日地区から高松中央ICを経て、香川インテリジェントパーク(KIP)※、高松市南部に至る延長約7.4kmの南北の主要な幹線道路です。また、(都)中新町詰田川線は、高松中心市街地と高松市東部((都)福岡三谷線まで)を連結する延長約2.3kmの東西の主要な幹線道路です。

福岡三谷線の整備により、物流機能の向上、災害時の緊急輸送路の確保、高松市南部と中心市街地のアクセス向上、周辺道路の交通混雑の緩和などを図ります。また、中新町詰田川線の整備により、朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和、自転車・歩行者の安全な通行空間の確保、高松市東部と中心市街地のアクセス向上、災害時における避難路の確保などを図ります。

※)KIP(キップ)とは、産学官連携による研究開発・新規産業創出拠点です。

事業概要

事業名称:高松広域都市計画道路 福岡三谷線整備事業
中新町詰田川線整備事業

路線名:高松広域都市計画道路 3-3-109号 福岡三谷線,
3-2-102号 中新町詰田川線

事業箇所:高松市上福岡町～高松市木太町

事業延長:福岡三谷線L=1.04km, 中新町詰田川線L=0.64m

幅員:福岡三谷線W=27.0～38.0m, 中新町詰田川線W=30.0m

事業費:約148億円(福岡三谷線 約93億円, 中新町詰田川線 約55億円)

事業実施期間:福岡三谷線 平成14年度～平成22年度
中新町詰田川線 平成12年度～平成22年度

(都)福岡三谷線整備事業は4車線バイパス整備で、今回の整備により、(都)福岡三谷線の全区間の整備が完了しました。整備区間の途中には、JR高德線との交差箇所が含まれますが、車道部は鉄道を跨ぐ橋梁、歩道部は鉄道を潜る地下歩道を整備しました。本路線の高松港朝日地区～高松中央IC区間は国際物流基幹ネットワークの一部で、今回のバイパス開通により分断されていた区間が連結することで物流機能が向上するとともに、災害時の緊急輸送路が確保されます。

(都)中新町詰田川線整備事業は4車線拡幅整備で、今回の整備により、(都)中新町詰田川線の全区間の整備が完了しました。(都)中新町詰田川線は、これまで慢性的な渋滞に加え、沿道の中学校の登下校時には歩道に生徒が溢れ、狭い路肩を自転車やバイクが通行し、大変、危険な状況でしたが、4車線に拡幅し自歩道を整備することで、これらの諸問題を改善しました。また、沿道には店舗等が多いことやバス停車場に配慮し、停車帯を2m確保することで円滑な交通を確保し、バスの利便性が向上しました。

両路線の相乗効果により、高松市中心市街地や高松港、高松中央IC、KIPなどの主要拠点が効率的に連結され、地域経済の活性化を図ります。

事業位置図・全体図(平面図)



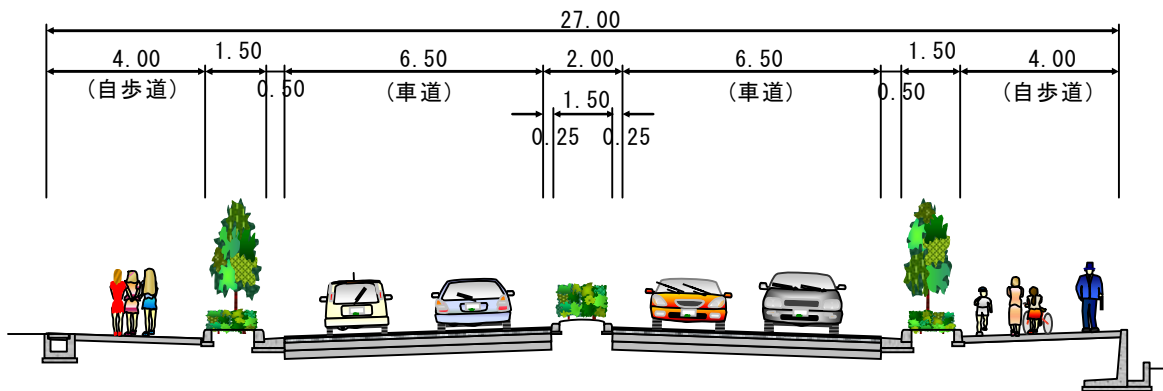
全体図(側面図・横断図)

(都)福岡三谷線(高架部)へはここをクリック⇒



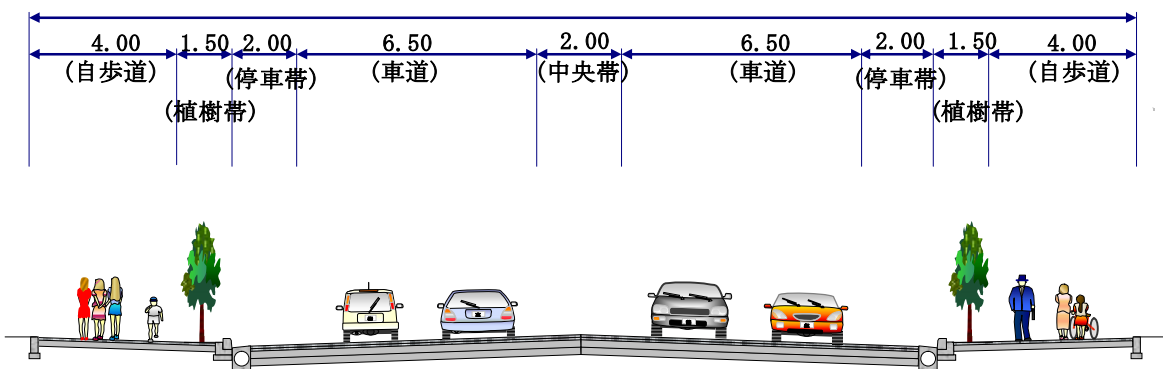
(都)福岡三谷線(一般部)

(一般部)



(都)中新町詰田川線(一般部)

30.00



福岡三谷線、中新町詰田川線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名称: 高松広域都市計画道路
福岡三谷線整備事業
中新町詰田川線整備事業
路線名: 高松広域都市計画道路
3・3・109号 福岡三谷線
3・2・102号 中新町詰田川線
事業箇所: 高松市上福岡町～高松市木太町
事業延長: 1.68km
幅員: 27.0m～30.0m(4車線)
事業費: 約148億円
事業期間: 平成12年度～平成22年度

○交通量調査結果

供用前実測
H21.4.30、H21.5.12、H21.5.22、H22.7.8、
H23.1.18実測
供用後実測
H23.9.7実測
交通量の推移(台/12hr)
(主)高松長尾大内線(2車線) 9,736 ⇒ 7,786(△ 20.0%)
(主)中徳三谷高松線(2車線) 11,025 ⇒ 8,591(△ 22.1%)
(都)福岡多肥上町線(4車線) 17,969 ⇒ 14,177(△ 21.1%)
(都)福岡三谷線(4車線バイパス) 6,683 ⇒ 15,008(+124.6%)
9,660 ⇒ 14,732(+ 52.5%)
(都)中新町詰田川線(4車線拡幅) 16,723 ⇒ 15,555(△ 4.3%)

「整備効果」

○旅行速度の向上・所要時間の短縮(平日の10:00～12:00)

(高松港⇒高松中央IC) 25.1km/h⇒**31.0km/h** 14分12秒⇒**9分56秒**

(高松中央IC⇒高松港) 20.6km/h⇒**25.6km/h** 17分19秒⇒**12分1秒**

福岡三谷線バイパス開通により、旅行速度は**約5km/h上昇**、所要時間は**約5分短縮**

○周辺道路の渋滞緩和

高松長尾大内線、中徳三谷高松線など2車線道路に9,700～11,000(台/12hr)あった交通量は**約20%減少し**、福岡多肥上町線など4車線道路に約18,000(台/12hr)あった交通量も**約20%減少**、中新町詰田川線の交通量に大きな変化ないものの**4車線拡幅の効果で交通渋滞が緩和**されており、**周辺道路は交通の適正な分散が図られ、交通渋滞が緩和**されている。

「その他の事業効果」

- ・物流機能の向上
- ・バスの利便性向上
- ・歩行者・自転車の安全な通行空間を確保
- ・災害時の緊急輸送路を確保
- ・地域経済の活性化に寄与
- ・両路線の**供用開始が同日付になるように工期調整し、円滑な供用**を図った(平成23年2月2日供用)



事業前写真



①平成13年11月撮影

(福岡三谷線の整備前)

- ・高松港と高松中央ICが分断
- ・南側の札場東交差点(当時、三差路)は、慢性的な交通渋滞



②平成13年11月撮影(交差点で渋滞)



③平成16年2月撮影(交差点で渋滞)



④平成19年12月撮影

(中新町詰田川線の整備前)

- 沿道の中学校の登下校時、歩道は生徒で溢れ、車道は高松市街へ向かう車両で慢性的な交通渋滞



バスを降りて、渋滞車両の隙間を見て、道路を横断するお年寄り



⑤

平成19年12月撮影



⑥平成18年4月撮影

事業後写真



①平成23年2月撮影



大勢の皆さんで渡り初め ②平成23年2月2日



③平成23年10月撮影



④平成23年10月撮影

J Rとの立体交差化の状況

高松港、高松中央IC、KIP、高松市中心市街地
が効率的に連結し、地域経済の活性化が期待される

【(都)福岡三谷線整備事業による効果】

- ・物流機能の向上
- ・交通渋滞の緩和
- ・災害時の緊急輸送路確保
- ・地域経済の活性化



⑤平成23年4月撮影

車道と自歩道が分離され、安全な通行空間を確保。
2.0mの停車帯を活用しバスが停車しても、4車線
拡幅の効果で交通渋滞は発生しない。

【中新町詰田川線整備事業による効果】

- ・交通渋滞の緩和
- ・バスの利便性向上
- ・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保
- ・中心市街地へのアクセス向上



⑥平成23年4月撮影

事業前写真撮影箇所



事業後写真撮影箇所

